

令和7年度 アプローチカリキュラム 静岡大学教育学部附属幼稚園		教育目標	主体的な生活を創造する子 ー自発・自律・協同ー		
期(時期)	I 期～VII期(入園から5歳児1学期)	VIII期(5歳児9月～12月)	IX期(5歳児1月～3月)		
期の特徴	自分の力で遊びながら学んでいく 自分でコントロールする力を身に付ける	共通の目的をもち、友達と一緒に活動する楽しさを味わう	友達のよさに気付き、互いを生かしながら園生活を存分に味わう		
幼児期にふさわしい生活の中で、体験してほしい内容	<ul style="list-style-type: none"> 進んで戸外に出て、いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。 身近な道具や用具の使い方が分かり、使おうとする。 身近にある様々な素材に親しむ。 身の回りのことを自分でする。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動会への取り組みを通して、体の動かし方を意識したり、全力を出し切ったりしようとする。① 素材の特徴が分かりそれを活用して試行錯誤する。⑥⑧⑩ 園生活の流れが分かり、自分たちの生活を自分たちで進めていく。① 夢中になって遊ぶ中で、身近な自然の変化や特徴に気付く。⑦ 基本的な生活習慣が身に付き、進んでやろうとする。② 	<ul style="list-style-type: none"> 竹馬や一輪車、こまなどに繰り返し挑戦する中で体の使い方やそのコツに気付く。① 伝統的な遊びや行事を楽しみながら、文字や数に親しんだり使ってみたりしようとする。⑧ 園生活を自分たちで進めていく充実感を味わう。①②【記録4】 場や状況に応じて、ふさわしいふるまいをしようとする。④⑤ 	★	知識及び技能の基礎
	<ul style="list-style-type: none"> 思いを言葉にして表す。【記録1】 感じたことや考えたことを自由に表現しようとする。 繰り返し試したり、思いをもって工夫したりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の思いやよさを認め、言葉で伝え合いながら遊びを進めていこうとする。③⑥⑨ いろいろな素材を組み合わせてたり、工夫したりしてイメージをしたものを形にする楽しさを味わう。⑥⑩ 行事への取り組みや遊びの中で友達と目的を共有し、見通しをもって進めようとする。③ 飼育物(ドジョウ、メダカ、虫など)の生態や特徴に興味をもって調べたり、観察したりしながら世話することを楽しむ⑦【記録2】。 栽培物の収穫や身近な自然を拾い集めたりすることを通して、形や大きさの違いに気付いたり、数や量を意識したりする。⑦⑧【記録3】 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や物語の世界に親しみ、想像したことを言葉で伝え合う。⑨ 様々な経験の中で感じたり考えたりしたことを、かいたりつくったりして楽しむ。⑩【記録5】 メロディーや歌詞からイメージを膨らませ、みんなと声を合わせて歌う楽しさや嬉しさを味わう。⑩ 様々な話し合いの場面で、友達の意見を取り入れたり自分の考えを改めたりしてよりよいものにしようとする。⑥⑨ 冬の自然事象に興味をもって調べたり、考えたことを試したりする。⑥⑦ 次への見通しをもって自分たちで生活を進めていく②③ 		思考力判断力表現力等の基礎
	<ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びや居心地のよい場を見つけ、安心して過ごす。【記録1】 友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 いろいろなことに興味をもち、やってみようとする。 身の回りの物を大切にしようとする。 相手の言葉を聞き、気持ちに気付いたり受け止めたりする。 自分自身の葛藤に向き合う。 身近な自然に触れ、その特徴や不思議さなどに関心をもつ。 散歩や買い物を通して、園周辺の地域を知り、関心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目当てに向かって最後までやり遂げようと挑戦する。② 友達と目的を共有しながら、力を発揮して取り組む。② 相手の気持ちを考えながら、いろいろな人(他学年や未就園児等)と関わろうとする。⑤ 困ったことはみんなで相談し、必要なきまりをつくったり、守ったりしようとする。④ 自分の気持ちを調整したり、友達と折り合いをつけたりして遊ぼうとする。④ 園生活を充実させるために必要なものを地域のお店に行く。⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園での生活を十分楽しみながら、充実感を味わったり自信をもったりする。②【記録4】 身近な自然の変化から春の訪れを感じ、卒園や進学に期待を膨らませる⑦ 友達同士で教え合ったり力を合わせたりして、自分たちで遊びや生活を進めていく。③⑨ 自身の成長を喜ぶと共に周囲の人への感謝の気持ちをもつ。⑤ 		学びに向かう力・人間性等
☆	①健康な心と体②自立心③協同性④道徳性・規範意識の芽生え⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重⑧数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現				
R7年度 幼児の 生活と遊び (*小学校)	虫探し・雲梯・ボールダリング・けいドロ・踊り・リレー・水遊び・色水・泡・泥遊び・絵の具・砂場・ごっこ遊び・船づくり・〇〇大会(運営、参加) 【園外保育】日本平動物園・図書館	いろいろな競争・綱引き・踊り・いろいろな鬼ごっこ(氷鬼・けいドロ・引越鬼・大玉)ドッジボール・雲梯・一輪車・縄跳び・鉄棒・ボール・ひもこま・ごっこ遊び・絵の具・お月見・楽器・クリスマス飾り・陶芸体験(支援学校との交流)・竹馬・正月遊び(すごろく、かるた、凧)・豆まき(節分鬼つくり)・富士山遠足(表現活動を含む) *11月静岡小学校訪問 *3月静岡小1年生との交流 【園外保育】駿府城公園・静岡小学校・賤機山・静岡高校・臨済寺・買い物(文具店、パン屋)・朝霧高原・富士宮浅間大社			
◎家庭との連携 ☆環境構成のポイント ◇教師の援助	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 教師も一緒に遊び、楽しさを共感する。 ◇ 遊びの中で生じる友達との葛藤を乗り越えられるように援助する。 ◇ 友達と生活する楽しさを味わったり、いろいろな体験が積み重なったりするように、みんなで遊ぶ機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 気の合う友達と継続して遊びを楽しめるよう、環境を整える。 ☆ クラスや学年単位で振り返りの場を設ける(ICTの活用、文字や図で示して共有化)。 ◇ 思いが衝突したときは話を整理したり見守ったりする。 ◇ 教師が言葉を言い換えたり話を視覚的に整理したりして、相手の思いに気づき受け止められるようにする。 ◎ 共に就学に向けての不安を解消し、期待が高まるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 自分なりの目当てに向かって挑戦できるよう、遊びの場を設定したり、記録を残せるようなものを用意したりする。 ◇ 子ども同士で衝突を乗り越えられるよう、話し合いの場を設ける。 ◇ 生活の見通しをもって行動できるように、一日の予定や時計の表示を掲示したり、自分たちで声を掛け合う姿を認めたりする。 ◎ 生活習慣の確立を目指して、園と家庭が共通の対応をする。 		

☆幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

★幼稚園教育において育みたい資質・能力